



宮崎 × JICA

～信頼で地域と世界をつなぐ～



宮崎

JICA海外協力隊

派遣中隊員 (9人)			
地域	派遣国	職種	派遣期間
東アジア	モンゴル	作業療法士	2023.07.26-2025.07.25
東南アジア	東ティモール	サッカー	2023.04.25-2025.04.24
	東ティモール	グループファシリテーター	2022.10.29-2024.10.28
	カンボジア	理科教育	2022.08.09-2024.03.20
北米・中南米	ブラジル	日本語教育	2023.01.30-2025.01.29
	ドミニカ共和国	理学療法士	2022.05.10-2024.05.09
アフリカ	マラウイ	薬剤師	2022.01.24-2024.01.23
	ザンビア	理科教育	2022.08.09-2024.08.08
	タンザニア	機械工学	2023.02.06-2025.02.05
派遣中を含む累積隊員 (628名)			

※本籍地が宮崎県の隊員



研修員受入事業 (短期) ※1

分野	コース名	実施団体	人数
農業開発	家畜関連感染症の診断システム開発	国立大学法人宮崎大学	2名
保健医療	周産期医療におけるチーム医療の推進と技術向上	国立大学法人宮崎大学	6名
教育	初/中等教育 (理数科教育) (青年研修)	株式会社教育情報サービス	5名

JICA留学生 (8名) ※2

宮崎大学 (8名)
PEACE (未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト) : 3名 (アフガニスタン)
SATREPS特殊土地盤上道路災害低減に向けた植物由来の土質改良材の開発と運用モデル(宮崎大学) : 1名 (エチオピア)
SATREPS家畜疾病の類症鑑別システムの開発(宮崎大学) : 1名 (タイ)
SATREPS食肉の細菌汚染予防のための革新技术の開発 (宮崎大学) : 1名 (タイ)
Agri-Net(食糧安全保障のための農学ネットワーク) : 1名 (タイ)
SDGsグローバルリーダー : 1名 (パキスタン)

※1 開発途上国からJICAの研修事業 (数週間～最長3年 (博士課程留学)) への参加者を指す。短期は1年未満。参加者は概ね先方政府の行政官。

他にもビジネスや学術界の中堅リーダーなどが参加。研修を通じて知見・技術を共有し、自国の発展のために生かす上で核となる人材。

※2 研修員のうち、長期 (1年以上) で日本の大学・大学院で学位取得を目指すもので、大半は修士課程。

民間連携事業 (実施中)

株式会社川上木材 (宮崎市)
持続的な森林経営のための宮崎型木材産業振興に関する基礎調査
実施期間 (2022.11 - 2023.12)
タンザニア

草の根技術協力事業 (実施中)

(一社)霧島山麓活性化人材育成協会 (宮崎県都城市)
ベトナム ナムディン省農業高校技術支援事業
実施期間 (2023.01-2024.12)
宮崎市 (宮崎市)・宮崎大学 (宮崎市)
Bangladesh 宮崎- Bangladesh ICT人材育成事業
実施期間 (2022.04-2025.02)

